【記入例】様式1 平成31年4月~令和2年3月間における体罰の状況

- 私立A中学校の部活動時間中において、40歳代女性教諭が部員である中学校2年生生徒2人及び3年生生徒1人に対して、ラケットで叩いて足に打撲を負わせた。 本人と保護者からの訴えから体罰であると認められ、1回の処分があった。
- 私立B高等学校(全日制・通信制併置)の休み時間中において、50歳代男性教諭Cがスクーリングで登校した1年生生徒(通信制在籍)に対して、態度が悪いため注意をしたが、 指示を聞かなかったため、腕を引いたところ、生徒が転倒し頭を打った。本人の訴え、教員の申告、周りで見ていた生徒からの通報から体罰であると認められ、1回の処分があった。
- 例2から半年経過後、B高等学校2年生生徒(全日制在籍)が教室の窓ガラスを割ったため、放課後に男性教諭Cが別室に指導のため生徒を呼び出した。生徒の態度が悪かったことから、 反省させるために正座をさせた。その際、本人が苦痛を訴えたが、そのままの姿勢を保持させた。本人及び保護者の訴えから体罰であると認められ、1回の処分があった。

国立大学法人名 /都道府県名	私立		所原	 	
記入者名		電話番号		e-mail	

(単位:人)

							24									被領	を受け	ナた児i	童生徒	走人数	ţ										/4- pp	Int out	Is am.			f2	本罰事案	袋の把握	量のき	っかけ	事実	関係	の把持	星の=	手法	通
整理			当りの学れ	事者 交種等	ż		学校番号							AL 76- 41				La data sir		中等	教育	学校			特	別支担	員学校	Ę		1	14部	時の料	大汉 19	下割の態料	を 被害の		アーイリア	イ ウ 教	五第	オーそ	ア当	イモ	ウッモー	才保	カモの	通信制か否か
整理 番号	0万子仅重号						番		小学村	段	中学	经	義務教育学校			高等学校		校	前期 後期		後期	小学音			中学部 高等部			部							児童生徒の訴	発養者の诉s 教員の申告	三者の	その他	当事者教員	の他	書見の 他児	才保護者	の他(第三者	かっ		
	学村	交種	年	代	性	刨	号	1年 2年	3年 4年	年 5年 6年	1年 2年	手 3年	1年 2年 3	年 4年 5	年 6年	7年 8年	F 9年 1	年 2年 3	3年 1年	三 2年 3	年 1年	2年 3年	1年 2	年 3年	4年 5	年 6年 1	年 2年	3年 1	年 2年	3年[[場]	面] [場	所]				児童生徒の訴え	申告	第三者の通報		教員	その他教員	映書児童生徒		書	かっ
1	イ	中学校	ウ	40歳代	イ	女性	1				2	2 1																			エ	un ウ		イー	キ	258 DE	1 1	_	T		1	_	1	1	П	
2	Н	高等学校	エ	50歳代	ア	男性	2											1													ウ・	x 2000	ary, spo	エー	オ	259 (16)	1	1	1		1		1 1	Т		1
3	Н	高等学校	エ	50歳代	ア	男性	2											1													イ	ina I	19883	クー	シ	@85L	1 1	1	Т		1		1	1		
4																																							Т							
5																																							Т					П		
6																																							Т							
7																																							Т							
8																																												Т		1
9																																					Т		T					П		1
10																																							Т					П		
11																																												Т		1
12																																														
13																																														
14																																														1
15																																														ш
16																																														
17																																														
18																																					╧									
19																																					╧							\perp		
20																																														
21																																					╧									
22																																					╧							┖		
23																																														ш
24																																														
25																																														1
26												П		П				П		П	T					П	П		Τ	П		T				Т	T									ıΠ
27																																					T		T					Т		
28																																					T							Т		
29												П								П								П											T					T		
30																									П					Ħ							T	T						Т	П	
1 「火事業の	336 LH-6	con de	F 327 1 1 1 - 2	ce una	F 41 000-		- 100	5 44 mm		25 100			100	0.1 for 1811 - 1	- 10		4						222.50			1 - 1										_										

1.「当事者の学校種等」内学校種、機、体罰時の状況。欄、「体罰の態態、欄、「被害の状況、欄が複数る場合は、各事案で主ならのをリストから1つ選択して入力すること。 2.「体罰事案の相握のきっかけ」、「体罰事案の相握の手法」欄は、該当する欄全でに「1」を入力すること(「1」以外入力不可)。 3.「被害を受けた児童生徒」欄は、「人数(学年)」を入力すること。また、学年が複数に及ぶ場合は、それぞれ入力すること。 4. 様式変更不可。